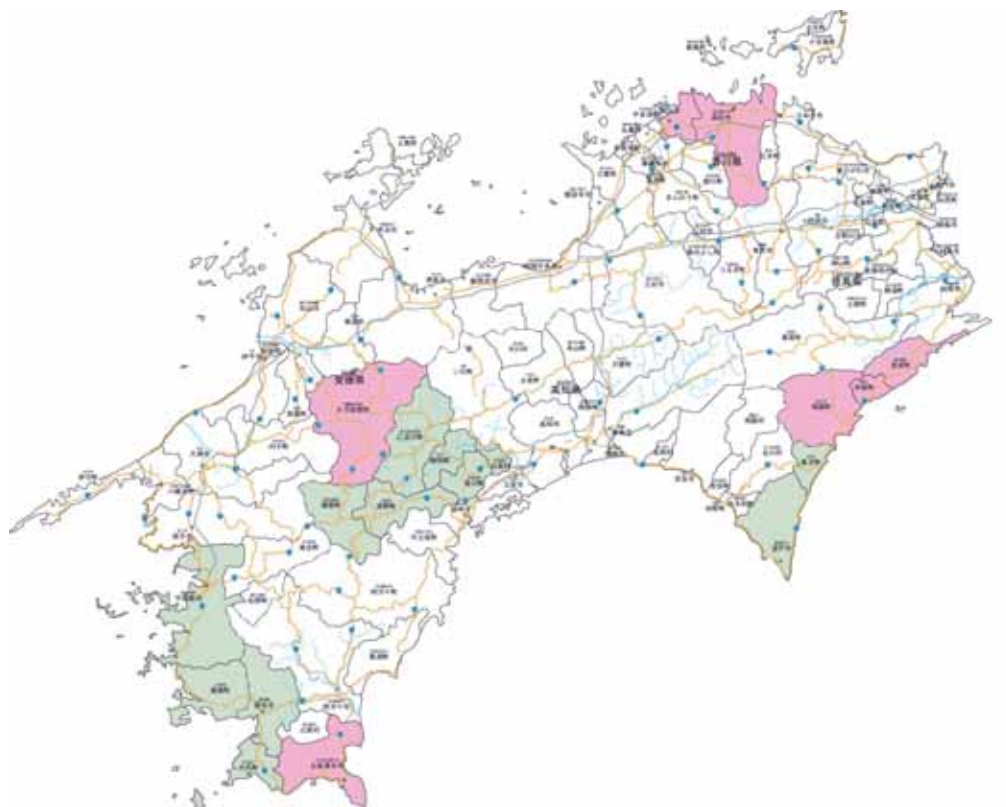


第4章 地域のアクションプログラム

各地域のアクションプログラムの提案にあたっては、各県の立地や地域事情に配慮し、モデル地域調査を行った地域のうちから、各県一箇所ずつとし、県境を越えた広域連携の可能性がある地域を中心に下記のとおり選定する。

以下、徳島県は南阿波、香川県は讃岐平野、愛媛県は石鎚、高知県は足摺・竜串の4地域に共通する、今後の取り組みを提案する。



赤のエリア：モデル地域調査を実施し、アクションプログラムを提案する地域

緑のエリア：広域連携によりアクションプログラムに組み込む地域

提案地域	広域連携エリア	市町村名
徳島県 南阿波	南阿波～室戸	美波町、牟岐町、海陽町 室戸市、東洋町
香川県 讃岐平野	讃岐平野	高松市、坂出市
愛媛県 石鎚	石鎚～四国カルスト～仁淀川流域	久万高原町 仁淀川町、佐川町、越知町 檜原町、日高村、津野町
高知県 足摺・竜串	足摺～南宇和	宇和島市、愛南町 宿毛市、土佐清水市、大月町

1 組織運営計画

○今後の取り組み

知る

ポイント：地域の団体・個人の活動を知る

エリア内での情報収集

エリア内の団体の活動や人材を把握する

- 南阿波～室戸エリア内の団体の活動
 - ・南阿波よくばり体験推進協議会

(内容) 南阿波地域3町(美波町、牟岐町、海陽町)で構成。農林水産省の「子ども農山漁村交流プロジェクト」のモデル地域に選定され、団体、個人向けの自然体験、農林漁業体験、歴史文化体験プログラムを提供している。<http://www.minamiawa.info/>
 - ・室戸ジオパーク推進協議会

(内容) 室戸市をはじめ、室戸市観光協会や商工会などで構成。アドバイザーは高知大学教授や高知コア研究所等地質の専門家が多数参画。現在G N加盟に向けガイド養成、ツアー企画に取り組んでいる。
- 讃岐平野エリア内の団体の活動
 - ・むれ源平まちづくり協議会

(内容) 商工会、観光協会など国、町、博物館など牟礼町内でまちづくりに関わる様々なグループ団体が協議会をつくり、町並み保存、散策ルートの開発、史跡ガイド養成、石あかり工作キットの開発や化石探検教室など石に関係する様々な取り組みを進めている。
 - ・高松工業高等専門学校

(内容) マレーシアのランカウイジオパークを推進している国民大学と交流し、地すべりやジオパークに関する情報交換、人的交流を進めている。
- 石鎚～四国カルスト～仁淀川流域エリア内の団体の活動
 - ・久万町観光協会、久万高原町商工会

(内容) 伊予の軽井沢と呼ばれ、早くからグリーンツーリズムへの取り組むなど、この分野では先駆的な存在。既存組織を活かし、役場商工会と地元事業者が協力し、りんごやなし狩り、などの収穫体験、天体観測などの体験メニューを発信している。
 - ・仁淀川・四国カルストジオパーク推進協議会

(内容) 高知県中西部6町村の首長が集まって、平成21年1月に発足。地元へ地質専門の博物館や自然系博物館があり、まずは地元住民に知ってもらうための企画を検討している。
- 足摺～南宇和エリア内の団体の活動
 - ・四国西南地域観光連絡協議会

(内容) 宇和島市、愛南町、宿毛市、土佐清水市、四万十市、大月町、黒潮町を中心とした西南地域の観光情報を共通で発信している。
 - ・土佐清水市観光協会

(内容) 漁業体験、ホエールウォッチングなどの各種体験観光プログラムを整備している。竜串観光振興会(海のギャラリー内)には地質や地形を説明するジオガイドがいる。「竜串・見残し奇岩フェア」として観光客にPRしている。

ポイント:地域の団体を活用し、組織化にむけた検討をする

組織の役割の検討

ジオパークの運営組織の役割について考える

- 組織役割（案）
 - ・理事会（役員会）
 - （内容）事業計画の策定、承認、意思決定
 - ・事務局
 - （内容）基本計画策定、資金管理、関連団体との窓口連絡調整、事務全般、売り込み、PR活動、TV、新聞等メディアへのプレスリリース
- 主な活動内容
 - ・マーケティング・ビジネス
 - （内容）ツアー商品づくり、市場調査、土産物等の商品開発、イベント企画、国際会議誘致、アンケート調査
 - ・人材育成
 - （内容）自然体験学習の受け入れ、ガイド養成プログラム、ガイドの実施、ガイド組織の運営、勉強会開催、ガイドブック作成
 - ・整備、管理
 - （内容）地域資源の調査、保護方策の検討、ジオサイト周辺の美化、遊歩道・ビジターセンター等の整備、維持管理、巡回
 - ・広報、情報
 - （内容）ホームページ、パンフレット、DVD、ポストカード等の作成

コンセプトの創出

地域の特徴を活かしたジオパークのコンセプトを検討する

- 南阿波～室戸の地域イメージ
 - 「空・海・陸のフロンティア、静と動が織りなす四国誕生の地」

・コンセプト

荒々しさと穏やかさを持つ海と地形が広がるこの地域は、はるか沖合から運ばれてきた堆積物が地震等により隆起した。その大地の上で人の暮らしが営まれ、そこには自然と人の壮大な物語がある。



えびす洞

・キーワード

（地質）

- フィリピン海プレート
- 沈み込みで発生する地震で隆起した地形
- 陸から近寄ることのできない断崖（海崖）
- 付加体、生痕化石、化石漣痕

（生態系）

- 亜熱帯性植物
- 海亀産卵地

（文化・歴史）

- 空海が悟りを開いた土地
- 最御崎寺など（四国八十八箇所）
- 木炭、捕鯨
- 地震と震災（津波）の記録と歴史



室戸おさかな祭り



御厨人窟

○讃岐平野の地域イメージ

「石の自然と文化が息づく芸術と匠の技の情報発信地」

・コンセプト

石材の加工に適した花崗岩地域であり、加工技術が伝統的に息づいてきた地域。素材として石を用いた芸術花開く地域である。

・キーワード

(地質)

- 日本でも珍しい庵治石の産地
- 讃岐平野に広がる讃岐富士など円錐状の山々
- サヌカイトによる縄文時代の石器原材料の一大産地

(生態系)

- 瀬戸内海性気候を反映した平野部固有の生態系

(文化・歴史)

- 讃岐うどん
- 石や絵画、現代アート作品の数々
- 源平合戦の古戦場
- 八栗寺など（四国八十八箇所）



さぬきうどん



飯野山（讃岐富士）



サヌカイト楽器

○石鎚～四国カルスト～仁淀川流域の地域イメージ

「日本の原風景を今に残す里山の自然と暮らしをめぐる地域」

・コンセプト

久万高原町は石鎚山、面河溪谷といった自然景観に加え、農村景観を活かしたまちづくりを進めている。また、本地域には四万十源流、仁淀川流域が含まれ、棚田や焼畑をはじめとする農山村生活文化、神楽などの伝統文化が残る地である。

・キーワード

(地質)

- はるか1500万年前の火山であった石鎚山生成の歴史
- 面河溪谷の景観美
- 四国の地形生成の歴史がわかる仁淀川（V字峡形成）
- 4億年前のクサリサンゴの化石が見られる佐川
- 鳥形山の石灰石鉱山（日本一の規模）

(生態系)

- 西日本最高峰を誇る石鎚山で見られる高山植生とそこに生息する昆虫や動物たち
- 蛇紋岩地形に見られる特有の植生（ドウダンツツジ、トサミズキなど）

(文化・歴史)

- 山岳信仰のメッカである石鎚山
- 岩屋寺など（四国八十八箇所）
- 無形文化財として多くの神楽や伝統芸能、焼畑文化
- 維新の志士の道、龍馬脱藩の道
- 清流仁淀川のめぐみの製紙産業と土佐和紙工芸



岩屋寺



長者



佐川地質館

○足摺～南宇和の地域イメージ

「宇和海と太平洋、2つの海と自然の恵み・先人の知恵に生きる地域」

・コンセプト

黒潮が最初に接岸する足摺地域（足摺岬、竜串、見残しなど）の雄大な景観と対をなすのが波穏やかなリアス式海岸で知られる南宇和地域である。この動と静の景観は観光客の目に新鮮に映る。

・キーワード

（地質）

- 砂岩泥岩の互層と自然の風化作用により形成された奇岩・景勝
- 花崗岩の断崖絶壁地形（大堂海岸など）
- 南宇和のリアス式海岸地形

（生態系）

- 豊富な魚類数（南方系の魚種多し）、サンゴの群生
- 亜熱帯性植物群落など

（文化・歴史）

- 黒潮の恵みに育まれた独特の漁村文化
- 沖の島（宿毛市）柏島（大月町）などの島しょ文化
- 金剛福寺など（四国八十八箇所）
- 石垣の街並み



海成段丘



竜串グラスボート



白山洞門

連携の模索

エリア内の団体・他地域との連携について検討する

○実施項目

- ・情報収集、情報共有
- ・連携した場合の相乗効果について検討

○情報収集、情報共有の方法

- ジオパークに取り組んでいる（関心のある）団体や活動について情報収集する
四国広域連絡協議会や高知県ジオパーク連絡協議会等に参加する。
- 連携が想定される団体の詳細情報を収集する
地域資源、ガイド団体、観光関連団体などについて調べる。
- 定期的なニュースレターによる情報共有
マレーシア（ランカウィ）では、構成員の知識ギャップを埋めるために定期的にニュースレターが発行された。

検討する

運営費の検討

ジオパークの運営に必要な費用について検討する

○支出

- ・人件費（事務局長、スタッフ） 約500万円～
- ・諸経費 約150万円～
 - － 勉強会開催
 - － 人材育成、ガイド養成、モニターツアー開催
 - － パンフレット、チラシ、DVD、ホームページ作成
 - － 看板、遊歩道、ビジターセンター整備・維持管理
 - － 組織・施設運営
 - － 事務費 など
- ・申請にかかる費用
 - － J G N審査にかかる費用 約20万円～
(審査員の旅費・滞在費のみで審査料必要無し)
 - － G G N審査にかかる費用 約40万円～
(審査員の旅費・滞在費のみで審査料必要無し)
 - － G G N申請一式(現地調査、申請書作成、英訳など)を委託した場合 約200万円～

○収入

- ・ガイド収入 ガイド料
- ・会費、寄付 団体、企業、個人からの運営補助
- ・補助金・助成金 自治体や企業からの運営補助
- ・施設入場料 ジオパーク関連施設の入場料
- ・ガイドブック ジオパーク関連ガイドブックの販売
- ・商品販売 土産品の販売など

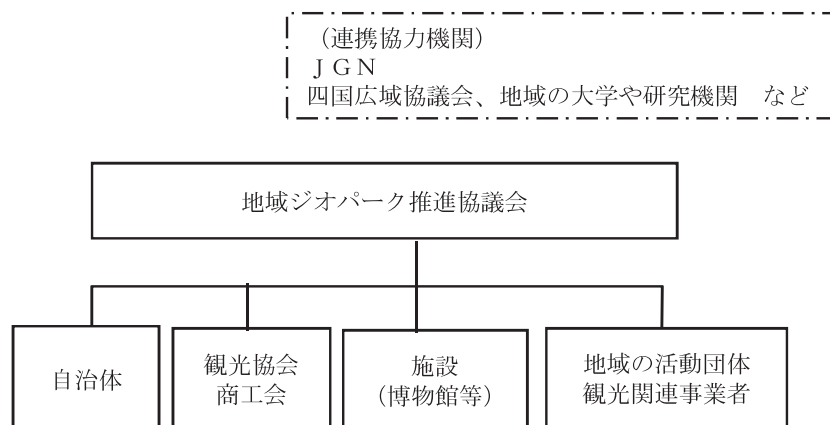
組織化

ポイント: ジオパークを運営する組織を立ち上げる

運営組織の立ち上げ

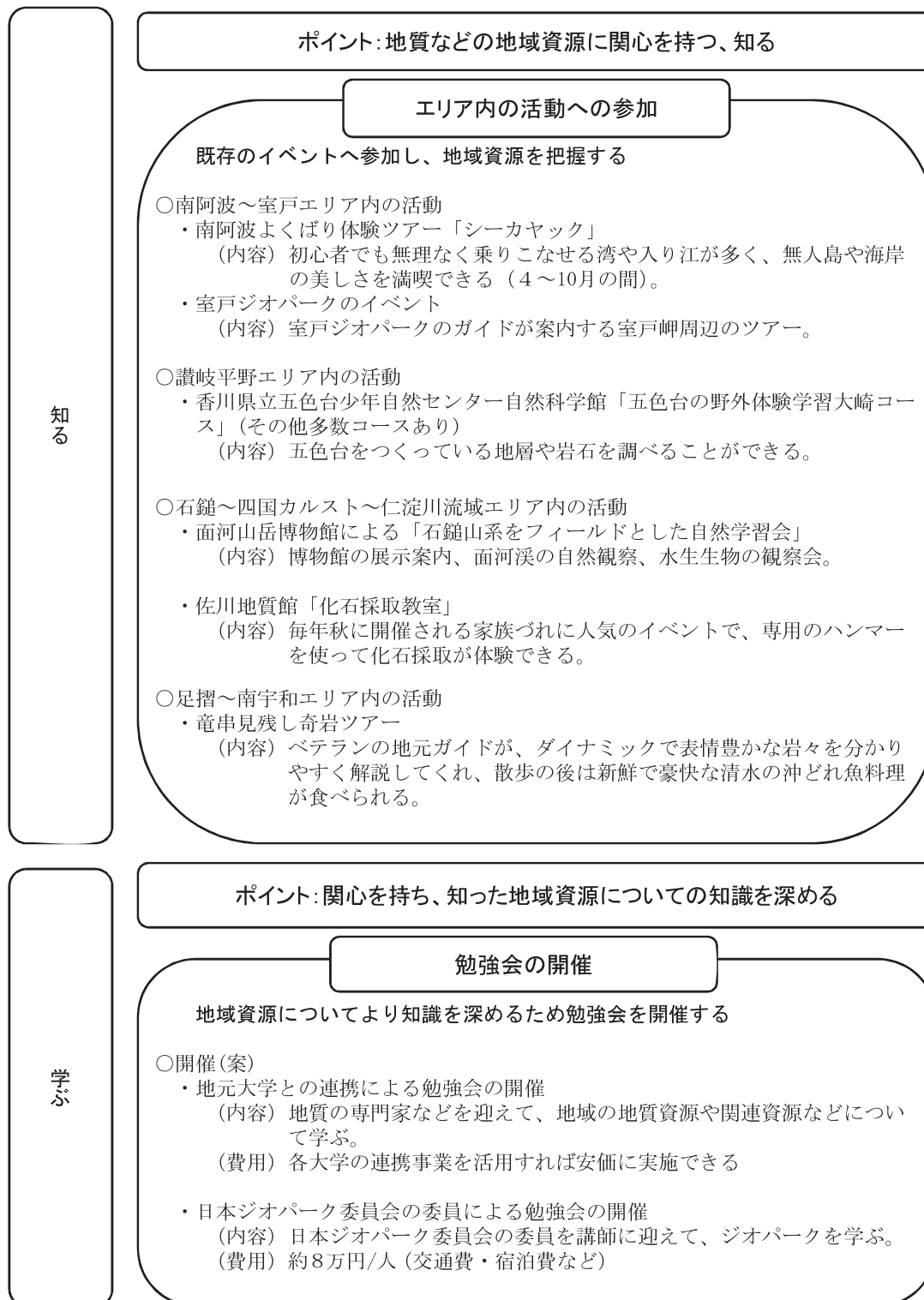
地域の各種団体が参画してジオパークの運営組織を立ち上げる

○運営組織イメージ図



2 人材育成・ジオツーリズム計画

(1) 今後の取り組み



ガイドの養成

地質を含む地域資源への知識を深め、情報を発信する人材、ガイドを養成する

○実施項目

- ・ガイド養成テキストブックの作成
- ・養成講座の開催
(内容) ガイド養成テキストブックを使った室内学習をした後、実践編として地域のひとと地域外のひとが一緒に町歩きをしながら今まで気付かなかった地域資源を掘り起こして再評価する。
- ・ガイド養成テキストブックへの資源の追加
(内容) 勉強会で再評価した資源を追加し、情報の量と質を高める。

○費用

- ・テキストブック作成費、会場費、印刷費、先進地視察費など

既存のガイドグループとの連携・協力体制の確立

既存のガイドグループと連携協力して、勉強会、ガイド養成、モニターツアーの開催、既存イベントでの実践などを行う

○南阿波～室戸エリア内のガイドグループ

- ・NPO法人カイフネイチャーネットワーク(牟岐町)
- ・南阿波よくばり体験推進協議会(牟岐町)
- ・ひるね郷、野根(東洋町)
- ・室戸市観光協会、吉良川町並み保存会(室戸市)

○讃岐平野エリア内のガイドグループ

- ・栗林公園ボランティア(高松市)
- ・香川善意通訳の会(香川SGG)(高松市)
- ・高松市観光ボランティアガイド協会(高松市)

○石鎚～四国カルスト～仁淀川流域エリア内のガイドグループ

- ・維新の道ガイド(禰原町)
- ・NPO法人佐川くろがねの会(佐川町)
- ・越知平家会(越知町)
- ・竜馬を愛する会(津野町)

○足摺～南宇和エリア内のガイドグループ

- ・旧庄屋毛利家を守る会、吉田町並みガイドの会(宇和島市)
- ・SGG善意通訳クラブ 宇和島支部(宇和島市)
- ・土佐清水市観光ボランティア会、松尾さえずり会(土佐清水市)
- ・竜串ダイビングセンター、竜串観光汽船(土佐清水市)

ポイント: 地域資源のよさ、特徴を伝える

モニターツアーの開催

既存のイベントなどを利用してモニターツアーを実施し、養成した人材を活用する

○実施項目

- ・ターゲットの絞り込み
- ・ルートづくり
- ・モニターの募集
- ・ヒアリングやアンケートの実施

○南阿波～室戸のモニターツアー開催（案）

- ・南阿波の体験学習ツアー

（内容）南阿波よくばり体験推進協議会が行っている、修学旅行をターゲットにしたシーカヤック、磯観察、うみがめの甲羅洗い・飼育などの体験メニューでガイド養成を受けたインストラクターが地形の成り立ちや生物との関係性を解説する。

○讃岐平野のモニターツアー開催（案）

- ・讃岐の山・石・食の文化を巡るジオツアー

（内容）タクシーに乗り、車窓に見える讃岐平野や飯野山（讃岐富士）など独特の地形を見ながら、タクシードライバーがその地形や地下水とうどんの関係性などを解説する。途中、石の民俗資料館や八栗寺などにも立ち寄り、讃岐ならではの文化に触れる。

○石鎚～四国カルスト～仁淀川流域モニターツアー開催（案）

- ・久万高原マラソン（久万高原町）

（内容）毎年10月、標高約800mの高原を走る人気のマラソン大会で約600人参加、走者の家族などを対象に久万高原を散策しながら地形の成り立ちや高山植物などを紹介する。

○足摺～南宇和モニターツアー開催（案）

- ・宇和海と太平洋 2つの海を訪ねるジオツアー

（内容）主に、都会のシニア層を対象に、海岸の造形と食を満喫するツアー海の宝石真珠の珠入れ体験の後、切り立った断崖のリアス式海岸、不思議な形の竜串や見残し海岸、きめ細かい白浜の大岐の浜、それぞれ美しい海岸線を眺めながら、その土地の新鮮で豪快な海の幸を味わう贅沢な旅。

○費用

- ・モニターの交通費、宿泊費、飲食費など

○活用できる支援制度

- ・ニューツーリズム創出・流通促進事業

（実施主体）国土交通省四国運輸局企画観光部観光地域振興課

- ・海と川のボランティア助成

（実施主体）日本財団 海洋グループ

活かす

ポイント:ガイド体制を整え、ジオツーリズムを売り込む

ガイドの組織化

認定や組織のルールをつくり、安定的にサービスを提供できる体制をつくる

- 実施項目
 - ・認定や登録のルールづくり
 - ・受付窓口の整備
 - ・ツアー料金の設定
- 費用
 - ・認定や登録のルールづくりに係る費用

商品化

地域内の資源を使ったツアーを企画して旅行会社などに売り込む

- 実施項目
 - ・ターゲットの絞り込み
 - ・ルート決定、受け入れホテルとの交渉
 - ・料金の決定
 - ・パンフレット作成
 - ・受付窓口の整備
 - ・営業活動

参考事例・情報

○ガイド養成

- ・マイントピアを楽しく育てる会（愛媛県新居浜市）

（内容）平成11年に、第3セクター施設である「マイントピア別子」の活性化を支援する目的で、ボランティア部会が立ち上がった。当初は、毎月1回、マイントピア別子内の学習体験施設（観光坑道や鉱山鉄道など）をフィールドに別子銅山の歴史などを学ぶ学習会（ロコミなどで参加者を募集）が開催された。現在、部会登録しているボランティアガイドは約25名、実際活動をしているのは約10名である。ガイドは、メンバーが交代で毎週日曜日・祝日の10時から15時の間、希望者を対象にガイドを実施している。また、新加入希望者がいたら、勉強会を開催する。ガイド術はテキストブックをもとに個人が各々の得意・特徴を活かしたガイドを展開する。行政の補助はうけておらず、ガイド料も無料である。

- ・山陰ジオパークのボランティアガイド養成講座の開催

（内容）平成21年3月1日に実施された養成講座には約40名が参加した。講座内容は、午前と午後の2部構成で、午後のシンポジウムは元大学教授による基調講演「地質時間尺と玄武洞・山陰海岸」と有識者によるパネルディスカッションが行われた。参加費無料



参考事例・情報

○活用できる支援制度

- (事業名) ニューツーリズム創出・流通促進事業
 (概要) 実証事業の実施により新たな形態の旅行商品に対する旅行者ニーズに関する情報や成功事例を蓄積し、マニュアル・事例集を作成するとともに、普及活動を行うことによる「ニューツーリズム」市場の育成を図る。
 (対象経費) 旅行商品造成のための意見交換・調整等の事務経費、ガイド等の研修経費、リーフレット作成・セミナーの開催等の広報経費、ガイドマップの作成、現地での二次交通の試験運行等の経費等
 (対象団体) 地域の観光関係者(旅行業者を含むものとする)
 (補助率) 定額(約100万円程度を上限とする)
 (連絡先) 国土交通省四国運輸局企画観光部観光地域振興課
<http://www.skt.mlit.go.jp/bunya/kankou/soudan.html>
- (事業名) 海と川のボランティア助成
 (概要) 親子で体験できる魅力的な海洋活動等を支援する。
 (対象経費) 人件費、謝金、交通費、委託費、印刷製本費、広告宣伝費等の直接経費に対する助成
 (対象団体) NPO、ボランティア団体
 (補助率) 90%、上限100万円
 (連絡先) 日本財団 海洋グループ
http://www.nipponfoundation.or.jp/kyotu_site/nendonaisea.html
- (事業名) 広域連携共生・対流等対策交付金
 (概要) 都市と農村の共生・交流などの広域連携事業や都市農村振興を支援する。
 (対象経費) 企画を実現するために直接必要となる経費(詳細は公募要領参照)
 (対象団体) 民間団体(公募)
 (補助率) ①都市と農村の広域連携プロジェクト等の支援(ソフト) 定額
 ②共生・対流の一層の推進と都市農業振興のための条件整備(ハード) 定額(1/2以内)
 (連絡先) 農林水産省農村振興局企画部農村政策課
<http://www.maff.go.jp/j/nousin/kouryu/kouhukin/index.html>

○地元大学との連携

- ・徳島大学
 (内容) 地域課題の解決や地域振興策検討のために、徳島大学に協力要請をする場合や自治体などで講師を依頼する際には、大学の地域連携推進室に連絡を取れば、内容に応じて教授などとの調整を行ってくれる。
<http://dmuseum.ias.tokushima-u.ac.jp/~chiiki/room.html>
- ・香川大学
 (内容) 香川大学では、工学部で高校生向けの出前講座などが実施されている。住民組織や自治体から勉強会などの希望があれば、下記に問い合わせで相談が可能。
http://www.kagawa-u.ac.jp/kagawa-u_eng/itwinfo/i1306/
- ・愛媛大学
 (内容) 愛媛大学では、地域社会の方々に向けたさまざまな活動や、自治体、民間企業との共同研究を積極的に行っている。愛媛大学地域創成研究センターでも、地方自治体と取り組み多数有り。センターに相談すれば、適切な研究会、組織をピックアップし、仲介してくれる。
<http://www.rci.ehime-u.ac.jp/community.htm>
- ・高知大学
 (内容) 国際・地域連携センター生涯学習部門では、高知県の市町村教育委員会と提携し、出前公開講座などの講座を開講しており、内容に応じて教授などとの調整を行ってくれる。
<http://www.kochi-u.ac.jp/~wwwlife/>